



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月10日

上場会社名 株式会社 NEW ART HOLDINGS
 コード番号 7638 URL <http://www.newart-ir.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 白石 幸生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松橋 英一

TEL 03-3567-8091

四半期報告書提出予定日 2020年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	14,146	14.8	2,541	68.4	2,532	73.1	1,412	123.0
2019年3月期第3四半期	12,324	17.0	1,508	223.9	1,462	233.6	633	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,361百万円 (114.5%) 2019年3月期第3四半期 634百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	88.23	
2019年3月期第3四半期	38.87	

当社は、2019年10月1日を効力発生日として普通株式20株につき1株の割合をもって株式併合を実施いたしました。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	18,990	8,079	42.8
2019年3月期	15,290	7,474	48.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 8,120百万円 2019年3月期 7,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		1.00	1.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2019年10月1日を効力発生日として普通株式20株につき1株の割合をもって株式併合を実施いたしました。2020年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合後の金額を記載しております。詳細は、2019年5月7日公表の「株式併合および定款の一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,400	4.6	2,750	8.8	2,710	13.5	1,770	93.1	108.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期(予想)の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合後の金額を記載しております。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	16,626,375 株	2019年3月期	16,626,375 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	855,868 株	2019年3月期	329,099 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	16,011,343 株	2019年3月期3Q	16,297,299 株

当社は、2019年10月1日を効力発生日として普通株式20株につき1株の割合をもって株式併合を実施いたしました。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては[添付資料] P 4 . 「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

2019年6月27日開催の第25回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、普通株式20株につき1株の割合で実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合の2020年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりであります。

1. 2020年3月期の配当予想1株当たり配当金期末1円50銭
2. 2020年3月期の連結業績予想1株当たり当期純利益通期5円43銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年12月31日）において、当社グループは、更なる事業の成長及び企業価値の最大化に向け、国内外における事業規模の拡大、新規事業の育成など、計画した施策を一つ一つ着実に実行しました。既存事業においては、海外への展開、新商品や新サービスの開発等に注力し、新規事業として取り組みを継続してきたアートファンドでは、2019年10月に第一号ファンドを組成しました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、主力のブライダルジュエリー事業が引き続き好調に推移したこと、海外店舗における売上が着実に伸長したことを主要因として、売上高は141億46百万円（前年同期比14.8%増）、営業利益は25億41百万円（前年同期比68.4%増）、経常利益は25億32百万円（前年同期比73.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億12百万円（前年同期比123.0%増）となり、いずれも前年を大幅に上回る成果を上げることができました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第3四半期連結会計期間より、「全身美容事業」及び「アート事業」の報告セグメントの名称を、「ヘルス&ビューティー事業」及び「フィンテック事業」に変更しております。これは、当社グループが行う事業をより明確に表現するためによるものであります。

また、従来「その他事業」に含めていた一部の事業について、事業化の見込みがたったことにより管理所轄の見直しを行い、報告セグメントの区分を「フィンテック事業」に変更しております。以下の前年同期比につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

① ブライダルジュエリー事業

当第3四半期連結累計期間におけるブライダルジュエリー事業の売上高は114億39百万円（前年同期比28.2%増）、セグメント利益は29億84百万円（前年同期比61.1%増）となりました。

国内においては、WEBおよびテレビCMによる広告の強化、映画やドラマへの積極的な協力等によるブランドイメージ向上、各種イベントやフェアの開催等が奏功し、来店客数は堅調に推移し、前年同期比大幅な増収増益を達成することができました。2019年10月の消費増税による影響が懸念されたなか、お客さまの高いご支持をいただきつつ成長軌道を維持できたことは、店舗施策、人材育成等の取組及び前述したブランドイメージ向上の成果と考えております。

また、海外におきましても既存店舗の売上が着実に伸長しており、広範なエリア展開を視野に、更なる店舗拡大に向け取組を継続しております。

店舗展開につきましては、2019年10月に「銀座ダイヤモンドシライシ」沼津店を移転し、「銀座ダイヤモンドシライシ」「エクセルコ ダイヤモンド」統合店として「ららぽーと沼津店」を開店いたしました。2020年1月末における「銀座ダイヤモンドシライシ」の国内店舗は45店舗、海外店舗は7店舗、「エクセルコ ダイヤモンド」の国内店舗は29店舗、海外店舗は1店舗となりました。

② ヘルス&ビューティー事業

当第3四半期連結累計期間におけるヘルス&ビューティー事業の売上高は22億73百万円（前年同期比6.2%増）、セグメント利益は1億69百万円（前年同期比91.6%増）となりました。

ヘルス&ビューティー事業につきましては、当第3四半期連結累計期間においてもWEBマーケティングの強化、来店誘致戦略の見直し、顧客層の見直し、既存顧客へのアプローチ強化、化粧品事業の強化等の施策を継続的に実施し、売上増加とともに、収益改善を重点目標に取り組んだ結果、前年同期比で大幅な増収増益を達成することができました。今後は、利益体質の一層の強化と、売上増加に向けた攻めの施策を進めてまいります。

2020年1月末における国内店舗は25店舗、海外店舗は2店舗であります。

③ フィンテック事業

当第3四半期連結累計期間におけるフィンテック事業の売上高は3億17百万円（前年同期比64.9%減）、セグメント損失は41百万円（前年同期はセグメント損失64百万円）となりました。

フィンテック事業につきましては、株式会社ニューアート・フィンテックにおいて、アートと金融を組み合わせた新規事業としてアートファンドの立ち上げに取り組んでまいりましたが、2019年10月、第一号ファンド約25億円を組成いたしました。新たにグループ連結会社となったASIA Contemporary Art Investment Fund Ltd.とともに、アートファンドの更なる成長に取り組んでまいります。

④ その他事業

当第3四半期連結累計期間におけるその他事業の売上高は1億37百万円（前年同期比61.9%減）、セグメント損失は38百万円（前年同期はセグメント利益59百万円）となりました。

その他事業につきましては、スポーツ関連事業の株式会社ニューアート・スポーツにおいて、ゴルフの一流シャフトブランドである「CRAZY」の認知拡大を図ると同時に新製品開発に力を入れています。2019年12月には、新ブランド「Lindy」を投入し新たな顧客層の開拓を進めております。また、ゴルフ以外の分野への事業展開も計画中で、研究開発に取り組んでおります。

（注）上記のセグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を調整前の金額で記載しています。

当社グループのセグメント別売上は、以下のとおりであります。

セグメントの名称	販売・サービスの内容など	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日） （千円）	前年同期比 （%）	構成比 （%）
ブライダルジュエリー事業	ブライダルジュエリーの仕入・製造・販売等	11,438,758	28.2	80.9
ヘルス&ビューティー事業	エステティックサロンの運営、化粧品及び健康食品等の製造・販売	2,253,255	5.3	15.9
フィンテック事業	アートファンドの組成・運営、美術品の販売等	317,889	△64.9	2.2
その他事業	ゴルフ用品の製造・販売、関連スポーツ用品の開発	136,770	△62.0	1.0
合 計		14,146,674	14.8	100.0

- （注）
1. 上記の金額には、消費税等は含んでおりません。
 2. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3. 「ブライダルジュエリー事業」は、ブライダルジュエリーの販売、その他ブライダルサービス関連の売上となっております。
 4. 「ヘルス&ビューティー事業」は、エステ施術サービス、化粧品・健康食品・関連美容機器の販売等の売上となっております。
 5. 「フィンテック事業」はアートファンドの組成・運営、美術品の販売等の売上となっております。
 6. 「その他事業」は、ゴルフクラブ用カーボンシャフト、ゴルフ用品、関連スポーツ用品の販売等による売上となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末比33億96百万円増加（前連結会計年度末比29.9%増）し、147億76百万円となりました。これは、現金及び預金の増加16億61百万円、受取手形及び売掛金の減少8億6百万円、商品及び製品の増加25億16百万円などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末比3億3百万円増加（同7.8%増）し、42億14百万円となりました。これは、減価償却累計額の増加などによる有形固定資産の減少1億19百万円、長期貸付金の増加3億67百万円などによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末比37億円増加（同24.2%増）し、189億90百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末比18億44百万円増加（前連結会計年度末比26.6%増）し、87億89百万円となりました。これは、短期借入金の増加16億9百万円、前受金の増加2億60百万円などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末比12億50百万円増加（同143.6%増）し、21億21百万円となりました。これは、社債の増加10億95百万円、長期借入金の増加1億85百万円などによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比30億95百万円増加（同39.6%増）し、109億11百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末比6億5百万円増加（前連結会計年度末比8.1%増）し、80億79百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益14億12百万円がありました一方、剰余金の配当3億25百万円及び自己株式の取得による自己株式の増加4億18百万円などによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は42.8%（前連結会計年度末は48.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年5月7日公表の業績予想から変更はありません。なお今後、業績予想について変更がある場合は速やかに公表いたします。

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は業況の変化や予期せぬ事象の発生などによって、大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,002,017	3,663,204
受取手形及び売掛金	2,447,329	1,640,663
商品及び製品	6,596,204	9,113,109
仕掛品	75,750	72,047
原材料及び貯蔵品	152,734	211,923
前払費用	124,903	140,262
その他	212,494	175,512
貸倒引当金	△232,172	△240,633
流動資産合計	11,379,263	14,776,090
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,009,385	891,041
機械装置及び運搬具(純額)	12,287	10,042
工具、器具及び備品(純額)	771,061	787,138
リース資産(純額)	120,237	104,898
建設仮勘定	940	845
有形固定資産合計	1,913,911	1,793,965
無形固定資産		
のれん	347,951	326,243
その他	68,568	57,915
無形固定資産合計	416,519	384,159
投資その他の資産		
長期貸付金	347,740	715,340
敷金及び保証金	1,095,984	1,093,547
繰延税金資産	196,144	259,453
その他	465,002	572,780
貸倒引当金	△524,021	△604,658
投資その他の資産合計	1,580,849	2,036,463
固定資産合計	3,911,280	4,214,589
資産合計	15,290,544	18,990,679

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	320,002	312,400
短期借入金	2,626,800	4,236,000
1年内返済予定の長期借入金	790,868	712,500
リース債務	30,643	30,692
未払金及び未払費用	719,803	862,523
未払法人税等	783,466	598,444
前受金	1,407,764	1,668,093
その他	266,368	369,324
流動負債合計	6,945,716	8,789,978
固定負債		
社債	—	1,095,500
長期借入金	313,214	498,458
リース債務	88,650	66,047
退職給付に係る負債	207,397	220,672
その他	261,551	240,998
固定負債合計	870,814	2,121,676
負債合計	7,816,531	10,911,655
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,617,252	2,617,252
資本剰余金	2,376,153	2,376,192
利益剰余金	2,672,615	3,759,285
自己株式	△202,117	△620,913
株主資本合計	7,463,903	8,131,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	50
為替換算調整勘定	10,109	△11,605
その他の包括利益累計額合計	10,109	△11,554
非支配株主持分	—	△41,237
純資産合計	7,474,012	8,079,024
負債純資産合計	15,290,544	18,990,679

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	12,324,708	14,146,674
売上原価	4,679,352	4,708,332
売上総利益	7,645,355	9,438,342
販売費及び一般管理費	6,136,375	6,896,537
営業利益	1,508,980	2,541,805
営業外収益		
受取利息	456	2,566
為替差益	—	26,435
保険解約返戻金	—	11,661
その他	2,086	2,607
営業外収益合計	2,542	43,271
営業外費用		
支払利息	27,936	43,855
貸倒引当金繰入額	—	6,150
為替差損	20,582	—
その他	453	2,813
営業外費用合計	48,972	52,820
経常利益	1,462,550	2,532,255
特別利益		
固定資産売却益	—	1,358
子会社株式売却益	136,419	—
特別利益合計	136,419	1,358
特別損失		
減損損失	19,338	107,774
貸倒引当金繰入額	372,921	—
その他	8,640	20
特別損失合計	400,901	107,794
税金等調整前四半期純利益	1,198,068	2,425,819
法人税、住民税及び事業税	632,445	1,106,432
法人税等調整額	△67,903	△63,309
法人税等合計	564,542	1,043,123
四半期純利益	633,525	1,382,696
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△29,918
親会社株主に帰属する四半期純利益	633,525	1,412,614

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	633,525	1,382,696
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	50
為替換算調整勘定	1,035	△21,714
その他の包括利益合計	1,035	△21,663
四半期包括利益	634,561	1,361,032
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	634,561	1,390,951
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△29,918

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月7日開催の取締役会における自己株式の取得に関する決議に基づき、自己株式取得を行いました。これにより、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が408,611千円増加しております。